

令和7年度 医師の負担の軽減及び処遇の改善に資する評価・計画

体制・項目		部署	R7具体的な取り組み内容の目標計画	
医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担	初診時の予診の実施	看護部	・電子カルテ導入に向け簡便な問診票の作成を検討、受付段階での記入を検討	
	静脈採血等の実施	看護部	・検査技師の採血業務の可能性を調査 ・PICC挿入が可能となるよう特定行為研修を推進	
	入院の説明の実施 (患者・家族への説明)	看護部	・現状維持	
	検査手順の説明の実施	看護部	・簡単な検査説明については医師事務への移譲、タブレット端末を利用を検討	
	服薬指導	薬剤部	・薬剤師月40件／人を目標。今までは各個人に任せていたが、今年度から担当病棟ごと2～3人チーム制とし服薬指導を実行	
	その他	チーム医療の推進	栄養サポートチーム	・栄養サポートチームとして適切に活動できるよう支援
			褥瘡チーム	・特定行為看護師の育成に向けて調整
			排尿ケアチーム	・継続・拡大を推進
			ICT	・活動時間を確保、感染管理を徹底することで医師の業務負担の軽減が可能
			フットケア外来	・スタッフの育成と、既資格者の活用を促し集患を推進
			入退院支援センター	・臨時入院の患者に対し、入退院支援センターの利用率の向上
			糖尿病透析予防診療チーム	・多職種で協働し、活動を継続
			身体拘束最小化チーム	・活動内容を、毎月各部署に配布、身体拘束最小化の取り組みを周知
		クリニカルパス推進	看護部	・電子カルテ導入に向けてパスの見直しを実施。パス利用時に看護経過記録を使用しない方法の検討
薬剤の投与量の調整		看護部	・調整数の向上	
救急医療における診療の優先順位 (院内トリアージ)	看護部	・院内トリアージについて指導し、患者さんを待たせないことを検討		
入院患者の療養生活に関する対応	看護部	・入退院支援センターからの退院支援の強化		
勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施	総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度同様にA水準を維持し、勤怠管理に努めることと年次有給休暇取得を促進、ワークライフバランスの実現</li> <li>・医師の健康診断を促進し、離脱せず長く当院に定着できる職員を目指す</li> </ul>		
前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保(勤務時間インターバル)				
当直翌日の業務内容に対する配慮				
育児・介護休業法第23条第1項目、同条第3項又は同法第24条の規定による措置を活用した短縮間正規雇用医師の活用			・条件的に可能であれば積極的な活用を図る	